

憲法の学習会

九条改憲の進行状況と 国民投票の問題点

『社会運動』編集長 白井さんのトーク
& ティスカッション

2017年4月28日(金) 14時~16時
生活クラブ会議室(さいたま市南区別所 5-1-11)
JR 埼京線「中浦和」下車3分

参加費:1000円(テキスト『社会運動 425号』代金をふくむ)
『社会運動 425号』をお持ちの方は500円



憲法を変えるってどういうこと？

権力に歯止めをかけるべき憲法ですが、改憲はわたしたちの日々の生活にもかかわる大事なことです。2017年1月27日の衆議院予算委員会で、安倍首相は「憲法改正について最終的に決めるのは国民」云々と発言し、国民投票を視野におき憲法審査会で改憲項目をできるだけ早く絞り込むよう促しました。日本国憲法についてこれまで以上に理解する必要性が高まっています。『社会運動 425号』をテキストに参加者同士で意見交換しましょう。



■白井和宏さんプロフィール

1957年神奈川県横浜市生まれ。現在、市民セクター政策機構 専務理事。訳書に『遺伝子組み換え食品の真実』(白水社)、『緑の政治ガイドブック』(ちくま新書)、著書に『家族に伝える牛肉問題』(光文社)などがある。

<http://cpri.jp/> (市民セクター政策機構)

お問い合わせとお申し込みは NPO 法人大人の学校

電話/FAX 048-866-9466

メール otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp